

シンポジウム | シンポジウム・パネルディスカッション：シンポジウム

■ 2024年7月19日(金) 13:30 ~ 15:30 **▲ 第2会場(カクイックス交流センター 3階 大研修室2)**

## [SY9] ハイブリッド ER の内因性疾患への応用

座長:藤見 聰(大阪急性期・総合医療センター 高度救命救急センター救急診療科)、稻垣 直之(済生会横浜市東部病院 放射線部)

14:30 ~ 14:42

### [SY9-06] ハイブリッドERの内因性疾患への応用

\*高倉 永治<sup>1</sup> (1. 聖マリアンナ医科大学病院)

2023年1月より当院でのHybrid Emergency Room System (HERS) が稼働した。導入前から、先行導入された施設からの多くの使用経験を参考に、当院の医療環境に合った運用を摸索してきた。設計の早い段階から2 Room型HERSになることは決定し、COVID-19などの感染症への対応が可能な初療室としての機能も求められた。またHERSの稼働率を上げるために、減少傾向にある外因性疾患に加え、内因性疾患への適応拡大を考え、従来から血管撮影装置を使用している診療科に対し、HERSの有用性を説明して積極的に聞き取りを行なった。稼働開始後も、救急科、放射線科を中心に、循環器内科、脳神経内科外科、呼吸器内科などの診療科の要望や方針をHERS運営会議や症例カンファレンスを通して、議論を行ってきた。稼働当初は医師や看護師、放射線技術、臨床工学技士など様々な職種に戸惑いがあったが、約1年が経過し、ようやく軌道に乗りつつある。今回、内因性の疾患へのHERSの活用として、以下に示した症例を中心に報告する。ELVO (Emergent Large Vessel Occlusion screen) 陽性に対する脳卒中患者症例 ECMO (V-A) の循環器内科症例や (V-V) の呼吸器内科症例 COVID-19などの感染症に対するIVR全般の症例 院内外を問わず、消化管出血に対するREBOA挿入症例 重症病棟患者に対する各種カテーテル挿入CT検査集中時、患者移乗時間削減を利用したHERS使用 (災害時のトリアージへの活用も視野に入れた取り組み : HIT "HERS for In-hospital Triage")